函館市　大間原発訴訟市民説明会
2019年11月9日

函館市が提訴した理由

～函館市民は避難できるのか？～

弁護士　兼平　史

福島の事故から8年と8か月

あの時の避難のこと
覚えていますか？

浪江町　請戸の浜の悲劇

原発事故による退避命令により、救助ができず、182名もの犠牲者を生んだ。

広河隆一氏撮影『新人間の戦場』より
2011年4月　請戸の浜でこどもの遺体を運ぶ警察官

子どもの遺体を運ぶ警察官。浪江町請戸・福島県。2011 年
Police officers carry the body of child. Ukedo, Namie, Fukushima prefecture. 2011

双葉病院の悲劇

３月１２日から１６日までの間で
避難の移動中及び到着後に
５０人が死亡

「避難弱者」

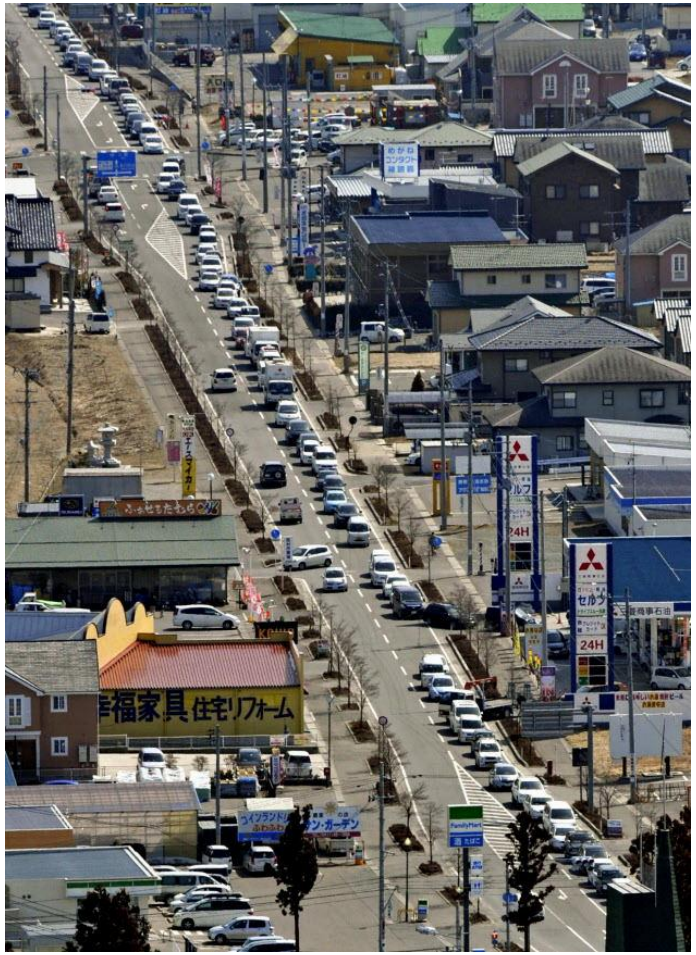
高齢者や障害者などの弱者が
移動や避難生活により
命を危機にさらされる

「こんなに早く亡くなるなんて
思っていなかった人たちが
亡くなっていった」

「弱者が淘汰されていくのかと思うほど
簡単に亡くなっていく」

それでは、
若く健康な人は
容易に避難できたのか？

福島の避難道路の渋滞



福島の避難の教訓を得た今日、

大間原発で苛酷事故が起きても、

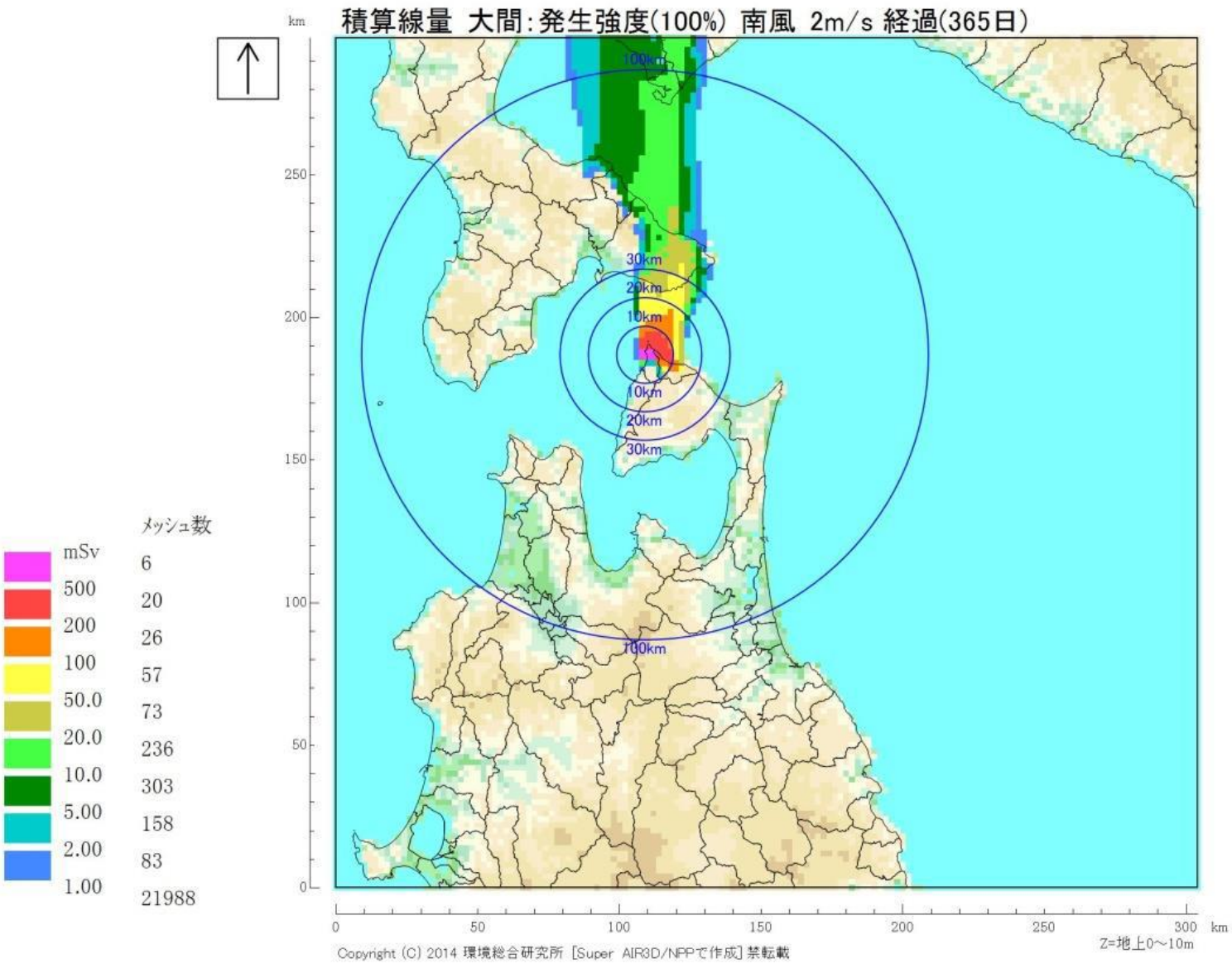
函館市民は避難できるといえる？

- UPZ（Urgent Protective action planning Zone：緊急防護措置を準備する区域）
  ＝原子力施設から5～30㌔以内

- 函館の一部はUPZ圏内

∴避難計画策定が義務

- 函館市では、30～40㌔圏に居住する市民が圧倒的に多い

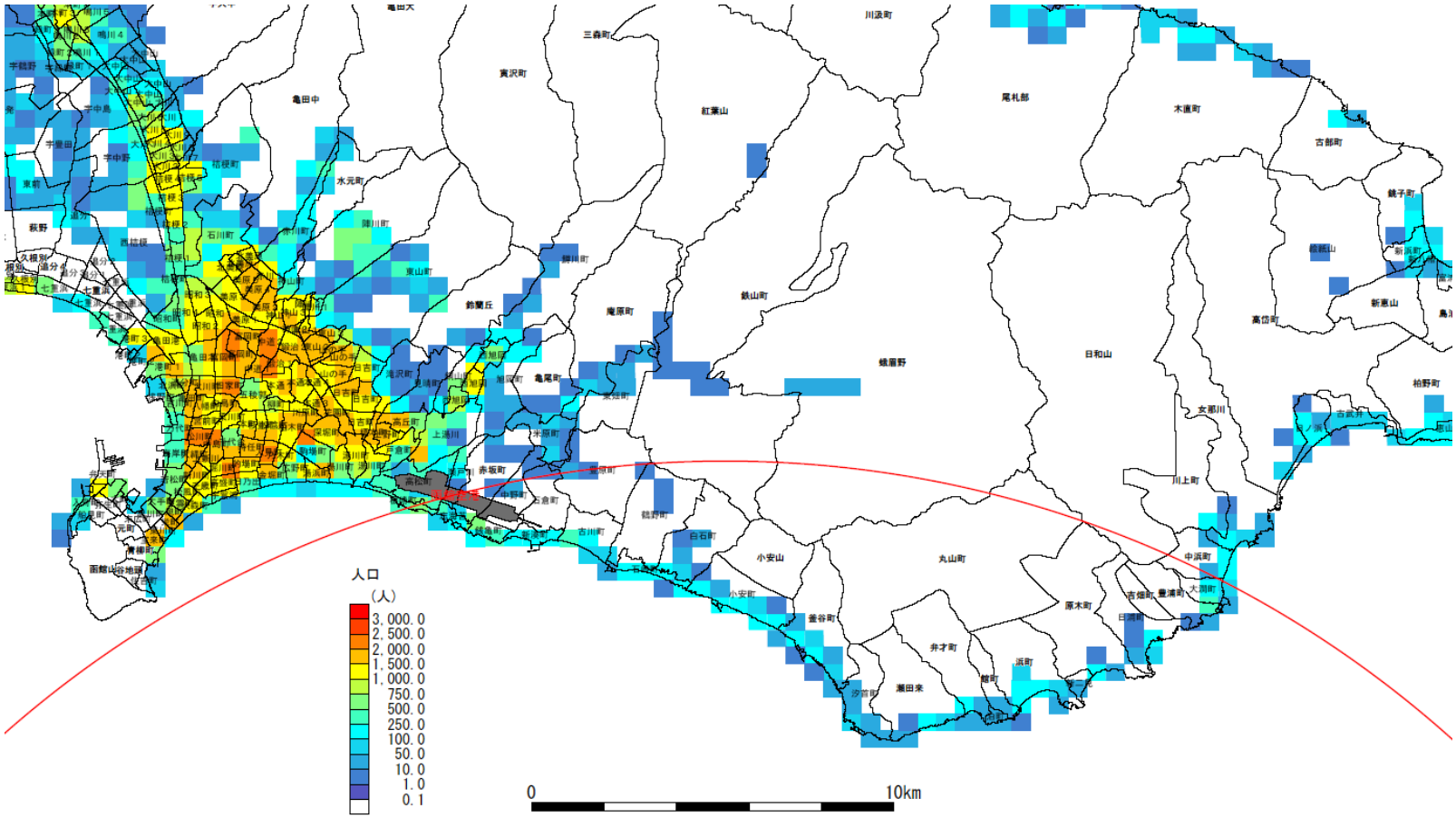

積算線量 大間:発生強度(100%) 南風 2m/s 経過(365日)
km
100km
30km
20km
10km
10km
20km
30km
100km
250
200
150
100
50
0
0
50
100
150
200
250
300
km
Z=地上0～10m
mSv
500
200
100
50.0
20.0
10.0
5.00
2.00
1.00
メッシュ数
6
20
26
57
73
236
303
158
83
21988
Copyright (C) 2014 環境総合研究所 [Super AIR3D/NPPで作成] 禁転載

万が一この先、
大間原発が完成し、稼働して、
福島第一原発のような爆発が起きたら・・・

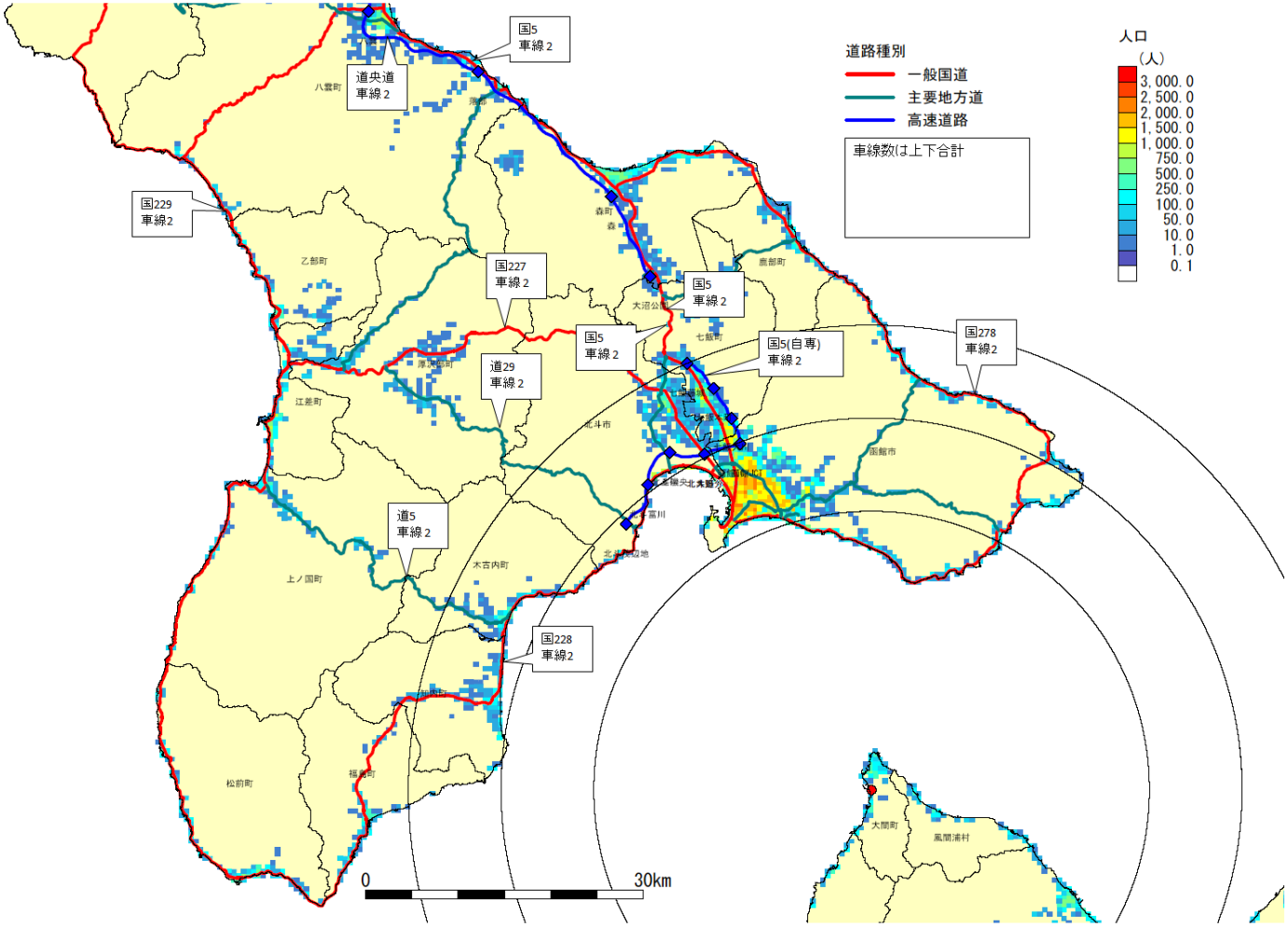
- 避難指示が出ず、政府が「直ちに人体や健康に影響は及ばない」と繰り返した場合は、避難せずに自宅で静観していられる？

- 大間原発から30キロ圏内のみに避難指示が出た場合、35キロ圏に住む人は避難しない？

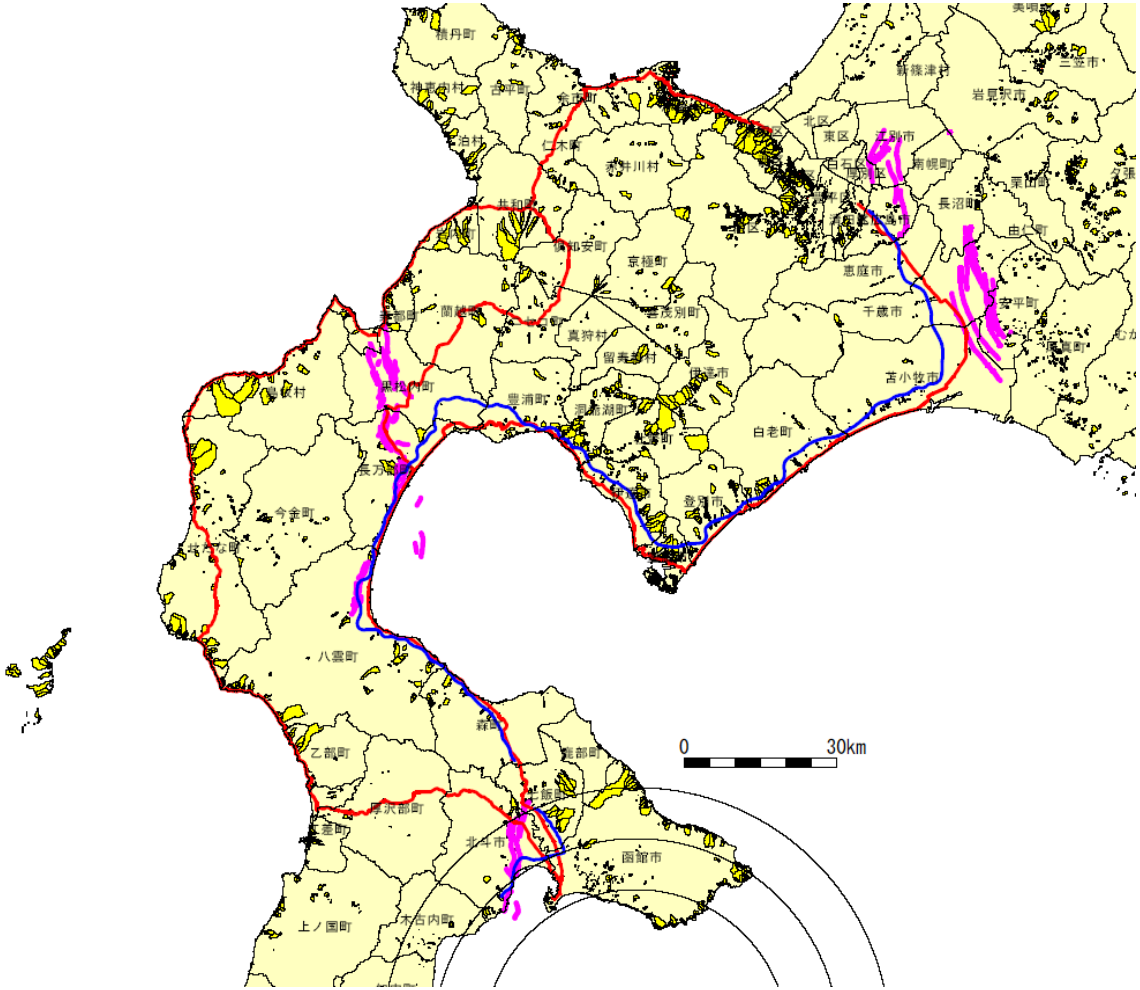
大間原発30km圏域と函館市の関係



函館市及び周辺自治体の道路状況



函館～札幌の避難経路と活断層・土砂災害危険箇所



渋滞が解消されれば避難できる？

- そもそもの集団輸送体制の不足
- 活断層や土砂災害により、避難経路の通行が不可能となる可能性
- 長距離の避難、燃料不足も必至
- 鉄道や航空機を移動手段とすることは非現実的

確実な避難・実行可能性ある避難計画の策定は、<u>**不可能**</u>

- 安全に避難して安全な場所まで到達できる人は、ほんの一握り
- 特に避難弱者は、避難そのものにより命を落とす危険も
- 函館市は、市民の生命、健康、財産、くらし、ふるさとを奪いかねない原発から市民を守り、函館市という自治体を将来の世代に引き継ぐために、提訴した

ご清聴いただき、ありがとうございました。